学校番号	1207

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	第３学年	・All Aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍） ・All Aboard! English CommunicationⅡ ワークブック（東京書籍）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を用いて、その内容につき要旨を書いたり、話し合ったりするなど総合的な言語活動を行う基礎を養う。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：　「コミュニケーション英語Ⅱ」（２単位）

主な教材：　上記科目の教科書・教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見を交換したりすることができる ・事実と意見などを区別して話すことができる ・与えられた話題について、即興で話そうとすることができる ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話そうとすることができる	・インタビューテスト ・スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔な文章を書こうとすることができる ・内容の要点を示す語句や文､つながりを示す語句などに注意しながら書こうとすることができる ・事実と意見などを区別して書こうとすることができる	・ワークシート ・定期考査	・事物に関する照会や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をある程度とらえることができる ・事実と意見などを区別して聞くことがある程度できる ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞こうとすることができる	・リスニングテスト ・定期考査	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をある程度とらえることができる ・事実と意見などを区別して読むことができる ・事実と意見などを区別して読むことがある程度できる ・説明や物語などを、聞き手にある程度伝わるように音読することができる ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などを意識しながら読むことができる	・リーディングテスト ・定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	決まった表現や形式を用いて、日常的な事柄についてやりとりしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 Fantastic Festivals 世界の祭り	［題材内容］ イタリアとフィリピンの２つの祭りに関する発表について読み，その特徴や共通点を学ぶ。 ［言語活動］ 身近な行事について英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		世界の祭りについて関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 身近な行事について間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。	比較表現： more, the most	世界の祭りについて関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 身近な行事について書いたり話したりできる。 物を比較して尋ねたり答えたりすることができる。	比較表現： more, the most	比較表現を用いて，正しい文を書くことができる。 身近な事物対して比較表現を用いて話したり書いたりすることができる。	スピーチ
		「外国語理解の能力」			
		２つの祭りについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 ２つの祭りについて比較して読み，それぞれの特徴や共通点を正確に理解できる。	比較表現： more, the most	本文中の比較表現の内容や注意すべき意味について理解できる。 二つの祭りについての比較に関して理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		２つの祭りの特徴や共通点について理解している。 祭りや行事の説明に用いられる語句や表現について理解している。 比較表現（more, the most）についての基本的な知識を身につけている。	比較表現： more, the most	比較表現の基本的な用法を理解している。 祭りの行事に関する内容を理解している。	定期考査 ワークブック

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 Dancing with Freedom 自分を表現すること	［題材内容］ ダンサーの菅原小春さんについて読み，世界で活躍するまでの道のりについて学ぶ。 ［言語活動］ 自分がどういう人物なのか英語で伝える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 自分のことについて間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。 相手の情報を積極的に聞き取ろうとしている。 グループワークにおいて必要に応じて協力し合っている。	［言語材料］ 関係代名詞：what	菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 自分のことについて適切な表現を用いて書いたり話したりできる。 子供のころなりたかったものについて述べることができる。	［言語材料］ 関係代名詞：what	関係代名詞whatを用いて，正しい文を書くことができる。 身近な事物対して関係代名詞whatを用いて話したり書いたりすることができる。	英作文 プレゼンテーション
		「外国語理解の能力」			
		菅原小春さんについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解できる。	［言語材料］ 関係代名詞：what	本文中の関係代名詞whatの内容や注意すべき意味について理解できる。 菅原小春さんについての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて理解している。 人物の説明に用いられる語句や表現について理解している。 関係代名詞（what）についての基本的な知	関係代名詞：what	関係代名詞whatの基本的な用法を理解している。 菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて内容を理解している。	定期考査 ワークブック

		識を身につけている。			
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 The Spirit of the Forest 森の精霊―ヤマネ	［題材内容］ 天然記念物で日本の固有種であるヤマネと，その生息環境について学ぶ。 ［言語活動］ 野生動物と自然環境について英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		天然記念物ヤマネについて関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 生息数が減少している生物について，間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。	間接疑問文	天然記念物ヤマネ、または生息数が減少している生物について関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 野生動物や自然環境について適切な表現を用いて書いたり話したりできる。 相手に聞きたいことについて教えてくれるよう依頼することができる。	間接疑問文	間接疑問文を用いて，正しい文を書くことができる。 身近な事物対して間接疑問文を用いて話したり書いたりすることができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		ヤマネの生態について聞いたり読んだりしたことから概要を正確にとらえることができる。 ヤマネが絶滅しかけている理由を正確に理解できる。	間接疑問文	本文中の間接疑問文の内容や注意すべき意味について理解できる。 ヤマネの生態と、絶滅しかけている理由についての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		ヤマネの生態と絶滅しかけている理由について理解している。 生息数が減少している生物について説明する語句や表現を理解している。 間接疑問文についての基本的な知識を身につけている。	間接疑問文	間接疑問文の基本的な用法を理解している。 ヤマネや生息数が減少している生物について説明を理解している。	定期考査 ワークブック

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 Living with Robots ロボットと築く未来	［題材内容］ 科学技術発達の例としてロボットについて読み，未来の生活について考える。 ［言語活動］ 科学技術の発達と未来の社会について，英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ロボットの役割や未来の生活について関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 間違うことを恐れずに自分の考えを書いたり話したりしている。	［言語材料］ 名詞を後ろから説明する分詞	ロボットの役割や未来の生活について関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 科学技術の発達と未来の社会について，適切な表現を用いて自分の考えを書いたり話したりすることができる。 写真が表していることについて，適切に説明できる。	［言語材料］ 名詞を後ろから説明する分詞	名詞を後ろから説明する分詞を用いて，正しい文を書くことができる。 身近な事物対して名刺を後ろから説明する分詞を用いて話したり書いたりすることができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		私たちの生活におけるロボットの役割について，聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 テーマについての賛成・反対の考えとその理由を正確に聞き取ることができる。	［言語材料］ 名詞を後ろから説明する分詞	本文中の名詞を後ろから説明する分詞の内容や注意すべき意味について理解できる。 ロボットの役割ついての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		ロボットの現在の役割やロボットとの未来の生活について理解している。 テーマについて賛成・反対とその理由を述べる表現を理解している。 名詞を後ろから説明する分詞についての基本的な知識を身につけている。	［言語材料］ 名詞を後ろから説明する分詞	名詞を後ろから説明する分詞の基本的な用法を理解している。 ロボットの現在の役割やロボットとの未来の生活について説明を理解している。	定期考査 ワークブック

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語	［題材内容］ 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学ぶ。 ［言語活動］ 日本の伝統文化について英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		歌舞伎や隈取について関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 隈取のデザインについて，間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。	to 不定詞を含む表現	日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 自分が考えた隈取のデザインについて適切な表現を用いて書いたり話したりできる。 友達にしてもらいたいことについて，適切に伝えることができる。	to 不定詞を含む表現	to 不定詞を含む表現を用いて，正しい文を書くことができる。 身近な事物対して名刺をto不定詞を含む表現を用いて話したり書いたりすることができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		歌舞伎の歴史や隈取の特徴について聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 隈取のデザインの特徴を正確に聞き取ることができる。	to 不定詞を含む表現	本文中の to 不定詞を含む表現の内容や注意すべき意味について理解できる。 歌舞伎の歴史や隈取の特徴についての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について理解している。 歌舞伎や隈取の説明に用いられる語句や表現について理解している。 to 不定詞を含む表現についての基本的な知識を身につけている。	to 不定詞を含む表現	to 不定詞を含む表現の基本的な用法を理解している。 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について説明を理解している。	定期考査 ワークブック

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 A Microcosm in the Sea 世界遺産グレートバリアリーフ	［題材内容］ 世界遺産グレートバリアリーフについてのプレゼンテーションを通して，それが直面する問題について学ぶ。 ［言語活動］ 未来に残したい場所や景色について英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		グレートバリアリーフとその直面する問題について関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 未来に残したい場所や景色について，間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。	［言語材料］ 動詞の目的語になるif節	グレートバリアリーフとその直面する問題について関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 未来に残したい場所や景色について自分の考えを書いたり話したりできる。 気になることについて述べることができる。	［言語材料］ 動詞の目的語になるif節	動詞の目的語になるif節を用いて，正しい文を書くことができる。 身近な事物対して名刺を動詞の目的語になるif節を用いて話したり書いたりすることができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		グレートバリアリーフについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 グレートバリアリーフの直面する問題の詳細を読み取ることができる。 発表者の考えや意見を正確に聞き取ることができる。	［言語材料］ 動詞の目的語になるif節	本文中の動詞の目的語になる if 節の内容や注意すべき意味について理解できる。 グレートバリアリーフの直面する問題の詳細についての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		グレートバリアリーフとその直面する問題について理解している。 場所や景色の説明に用いられる語句や表現について理解している。 動詞の目的語になるif 節についての基本的な知識を身につけている。	［言語材料］ 動詞の目的語になるif節	動詞の目的語になるif節の基本的な用法を理解している。 グレートバリアリーフとその直面する問題や、場所や景色について説明を理解している。	定期考査 ワークブック
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法

Lesson 7 Happiness through Hula 笑顔をつなぐ踊り	［題材内容］ 福島県いわき市とフラダンスとの関係について学ぶ。 ［言語活動］ 身のまわりの人を励ますためにできることについて，英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		いわき市の歴史とフラダンスとの関係について関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 人を励ますためにできることについて，間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。	知覚動詞	いわき市の歴史とフラダンスとの関係について関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 人を励ますためにできることについて，適切な表現を用いて書いたり話したりできる。 見て興奮したことについて，適切に説明できる。	知覚動詞	知覚動詞を用いて，正しい文を書くことができる。 身近な事物対して知覚動詞を用いて話したり書いたりすることができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		いわき市の歴史とフラダンスとの関係について，聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 フラダンスに対する高校生の考えを読み取ることができる。 発表者の考えや意見を正確に聞き取ることができる。	知覚動詞	本文中の知覚動詞の内容や注意すべき意味について理解できる。 いわき市の歴史とフラダンスとの関係、またはフラダンスに対する高校生の考えについての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		いわき市の歴史とフラダンスとの関係について理解している。 人を励ますのに必要な基本的表現を理解している。 知覚動詞についての基本的な知識を身につけている。	知覚動詞	知覚動詞の基本的な用法を理解している。 いわき市の歴史とフラダンスとの関係や人を励ますのに必要な基本的表現について説明を理解している。	定期考査 ワークブック

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 The Magic of the Cotswolds 魔法にかけられて	［題材内容］ イギリスを訪れた結衣からのメールを読んで，コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルについて学ぶ。 ［言語活動］ 自分の好きな場所について英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		コッツウォルズ地方の風景や文化について関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 自分の好きな場所について，間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。	関係副詞：where，when	コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルに関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 自分の好きな場所について適切な表現を用いて書いたり話したりできる。 英語でＥメールを書く際に使われる形式を用いて書くことができる。 建物について適切に説明できる。	関係副詞：where，when	本文中の関係副詞の内容や注意すべき意味について理解できる。 自分の好きな場所、英語でEメールを書く際に使われる形式についての本文での内容を理解することができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		コッツウォルズ地方の文化について聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 イギリスで訪れた場所に対する結衣の感想を読み取ることができる。 メールを読んで場所に関する情報を正確に読み取ることができる。	関係副詞：where，when	本文中の関係副詞の内容や注意すべき意味について理解できる。 コッツウォルズ地方の文化やイギリスで訪れた場所に対する結衣の感想についての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルについて理解している。 英語でＥメールを書く際に必要な基本的表現や形式を理解している。 おすすめの場所の紹介に用いられる語句や表現について理解してい	関係副詞：where，when	関係副詞の基本的な用法を理解している。 コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルや、英語でＥメールを書く際に必要な基本的表現や形式について説明を理解している。	定期考査 ワークブック

		る。 関係副詞（where, when）についての基本的な知識を身につけている。			
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実	［題材内容］ チョコレート原材料であるカカオ生産の裏側にある現実とフェアトレードシステムについて学ぶ。 ［言語活動］ 食料事情について根拠を示しながら英語で説明する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 間違うことを恐れずに自分の意見や感想を加えて書いたり話したりしている。 グループワークにおいて必要に応じて協力し合っている。	使役動詞	チョコレート原材料であるカカオ生産の裏側にある現実とフェアトレードシステムに関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 日本が輸入している食料について調べたことに自分の意見や感想を加えて書いたり話したりできる。 具体的な数字などの根拠を示して書いたり話したりできる。	使役動詞	本文中の使役動詞の内容や注意すべき意味について理解できる。 日本が輸入している食料、具体的な数字などの根拠を示し方についての本文での内容を理解することができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて，聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 グラフから情報を正確に読み取ることができる。	使役動詞	本文中の使役動詞の内容や注意すべき意味について理解できる。 チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムや掲載されているグラフの読み取り方についての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて理解している。	使役動詞	使役動詞の基本的な用法を理解している。 チョコレートの裏側	定期考査 ワークブック

		グラフなどの図表を説明する際に必要な基本的表現を理解している。 使役動詞についての基本的な知識を身につけている。		にある現実とフェアトレードシステムや、グラフなどの図表を説明する際に必要な基本的表現について説明を理解している。	
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 Designing for Peace デザインで世界を変える	［題材内容］ 工業デザイナーのマスード・ハッサーニさんと彼のデザインしたマイン・カフォンについて学ぶ。 ［言語活動］ 身のまわりの社会や世界で起こっている問題について，英語で述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて関心をもち，積極的に聞いたり読んだりしている。 間違うことを恐れずに自分の意見を書いたり話したりしている。 ペアワークにおいて必要に応じて協力し合っている。	分詞構文	マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンに関心をもっている。	授業での取り組み
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 人の意見に対して賛成か反対を示して，その理由を述べることができる。 同時にしてはいけないことを，相手に指示することができる。	分詞構文	本文中の分詞構文の内容や注意すべき意味について理解できる。 人の意見に対して賛成か反対を示して，その理由を述べること、同時にしてはいけないことについての本文での内容を理解することができる。	プレゼンテーション ペアワーク
		「外国語理解の能力」			
		マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて，聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 対話相手の意見とその理由を正確に聞き取ることができる。	分詞構文	本文中の分詞構文の内容や注意すべき意味について理解できる。 マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについての本文での内容を理解することができる。	筆記テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて理解している。 英語で自分の意見を述べる際に必要な基本的	分詞構文	使役動詞の基本的な用法を理解している。 マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて説明	定期考査 ワークブック

		表現を理解している。 分詞構文についての基本的な知識を身につけている。		を理解している。	
単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法